



明日へ ジャンプ

No.185

仲間の応援を力に 全国大会での活躍を誓う

伊勢崎工業高等学校 2年 ^{ほしの}星野 ほたる さん



伊勢崎工業高校に通う星野さんはボクシング部で日々トレーニングを重ねています。そんな星野さんにボクシング部に入部したきっかけを聞きました。

「中学生の頃に通っていたボクシングジムの先生に勧められました。自分自身ももっと練習をし、強くなりたいと思っていたので伊勢崎工業高校に進学し、ボクシング部に入部することを決めました」

高校に進学後、本格的にボクシングを始めたという星野さん。ここまでボクシングを続けられているのは仲間の存在があるからだと話します。

「試合や練習はつらいことが多いですが、仲間思いの部員たちがいつも支えてくれます。ボクシングは個人競技ですが、お互いに励まし、応援し合える仲間は力をくれるとても大切な存在です」

仲間の支えを力に今では多くの大会で結果を残す星野さんですが、今でも忘れられない試合があるそうです。

「1年生の頃に出場した大会で、1ラウンドで2回のダウンを奪われ負けてしまいました。先生と入念に対策を立て

臨んだため、勝てると思っていましたが、思い通りの試合ができずとても悔しかったです」

この試合をきっかけにボクシングに対する意識が変わったと言う星野さん。日々努力を重ねた結果、ことし開催された関東高校ボクシング選抜大会では、フライ級で見事に優勝。全国選抜大会への切符を手に入れました。最後に、3月に控える全国選抜大会への意気込みを聞きました。

「まだ全国大会では1度も勝利したことがないため、まずは1勝したいです。そして1試合でも多く勝利を重ね、いつも私を支えてくれる人たちに恩返しをしたいです」

プロフィール

ほしの・ほたる

中学生の時に格闘技に興味を持ちボクシングを始めた。大会に向けたきつい減量後に、友達とフルーツの食べ放題などに行くことが楽しみ。高校卒業後は大学へ進学し、将来は祖母が長年務めた看護師になりたいと話す。

